

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

職員団結向上研修プログラム

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

現在の社会的養護の課題となっている難しい課題を抱えている入所児童、保護者に適切に対応するためには、職員によるチームケアが必要であり、効果をあげると考えられています。そのためには職員が団結し、同じ方針と支援方法を確認することが求められます。その根拠となる施設の養護(事業)計画書を今一度、職員同士で分かち合い、確認することが必要となります。この目的を達成するために、このようなプロジェクトを考え、実行しました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

職員に対しての宿泊研修・施設見学を行います。

1. 他施設や青少年教育施設を利用し、職員が本学園の理念・方針について、事業計画書をもとに議論し、分かち合いを行います。
2. 児童支援の基本となる自立支援計画書の有効な活用について、職員で話し合います。
3. 夏行事等に利用できるような施設を見学し、参考にして企画を立てられるようにします。
4. 宿泊研修ということで、職員の親睦も兼ねます。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

職員がじっくり話し合え、議論をするために、学園としては初めての職員一泊研修を行います。テーマを「なぜ活用されない養護(事業)計画書」とし、職員グループワークのもと、課題点を見出し、実行できる改善策を考えることにしました。外部スーパーバイザーより、論点の整理や話し合いの進め方のアドバイスを元に、グループ討議を効果的に進めることが出来、今後のチームの話し合いに役立てられる効果的な方法を体得するステップとなりました。全職員が参加できるように、同じ内容の研修を2回に分けて、実施しました。職員の親睦も図られ、チームワーク作りの一歩となり、来年度はさらなる研修成果を期待出来ると思います。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

ベトレーム学園の養護(事業)計画書をじっくり読み込む良い機会になりました。グループ討議の中では、「何故読まないのか」について経験年数に分かれ討議し、「現場の必要性が感じられない(現場では担当者ハンドブックが活用されているから)」や「自立支援計画書の作成時に必要になる」等の意見が出ました。しかし様々な意見が出た中で、同じ施設で働いている職員がバラバラな支援を行っていたのでは利用者が混乱する、支援を行なう為の事業計画書を読んでいないのは問題なのではないかという話になり、そこで初めて問題が明確化してきました。明確化に伴い、到達点でもあった活用する為にはどのようにすればいいかなどを様々な視点から討議しました。宿泊研修という形で、普段、機会のなかった職員とも話すことができ、学園の職員力アップに繋がったように思います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし